



障がいを持ちながらアートする人たちの美術展

ザ・チャレンジド・アート展

The Challenged Art展

inちば

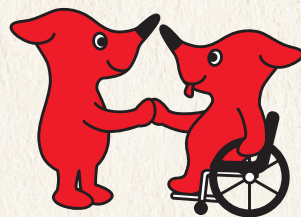


「天気」竹内晃汰（八幡学園 アトリエ・オクト）

障がいを持ちながらアートする人たちの美術展「The Challenged Art 展(ザ・チャレンジド・アート展)」は、障がいのある方が描いたアート作品の画像を公募展示する展覧会です。

ライオンズクラブ国際協会333-C地区(千葉県)では、障がいのある方の多彩な才能に光をあて、アート作品の新たな可能性を拓くための支援事業として開催します。

作品は千葉県内から広く募集し、専用ウェブサイトでの公開や千葉県立美術館で映像展示などを行います。このアート展を通じて、障がいのある方々と地域の方々がともに芸術にふれ、楽しみ、豊かな心が育まれる機会となることを願っています。



チーバくん 許諾番号 第A 2879-2号

応募作品募集！

応募期間 2025年11月10日(月)～30日(日)

応募作品は千葉県内の障がいのある方が描いた平面作品。作品を写真に撮り、「作品画像」を専用ウェブサイトからお申し込みいただきます。

くわしくはホームページをご覧ください。

<https://333c.art>



専用ウェブサイト「333c.art」で作品画像を公開展示

2025年12月10日(水)～2026年4月30日(木)

いつでも、どこでも誰もが気軽に作品にふれられるように専用ウェブサイトで作品を公開展示します。

千葉県立美術館「うみのもりの玉手箱5」で作品画像を映像展示

2026年1月20日(火)～2月1日(日) 9:00～16:30

【注】休館日 1月26日(月)。最終日 2月1日(日) 入場16:00まで。

令和7年度千葉県障害者芸術文化活動支援事業「うみのもりの玉手箱5」の実作品展示にあわせて、作品画像や創作活動を映像で展示・紹介するコーナーを開設します。



主催：ライオンズクラブ国際協会333-C地区

後援：千葉県・千葉県教育委員会・千葉県社会福祉協議会

協力：千葉県障害者芸術文化活動支援センター「うみのもり」